

- ・このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- ・施工は必ず専門の工事業者の方が行ってください。
- ・この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。

この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

▲ 注意

- ・取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

お願い

- ・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- ・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- ・取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- ・取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

補 足

- ・説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

< 施工の前に >**▲ 注意**

- ・製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。

お願い

- ・正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- ・製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- ・この取付説明書は、雪止めの設置について説明しています。
- ・カーポート本体の施工は、本体の取付説明書を確認してください。

< 施工上のご注意 >**▲ 注意**

- ・ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- ・ボルト、ネジは当社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。製品の強度低下、またはケガのおそれがあります。 ※φ4ネジ : 2.0N・m±0.2N・m
- ・製品の改造は絶対にしないでください。

お願い

- ・施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ※作業服および保護具(保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具)を正しく使用してください。
 - ※作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
 - 特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ※器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ※作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ※作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ※万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- ・製品についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は、補修塗料で補修してください。
- ・取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- ・腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。

< 施工の前に >**▲ 注意**

- ・ボルト、ネジの締め忘れがないか確認し、ゆるんでいる場合は締めなおしてください。



施工チェックシート


※施工時に下記を必ずご確認ください。この項目を守らないと不具合発生につながります。

確認後チェック欄に マークを付けてください。

施工完了後のチェック内容		
No.	確認項目	不具合現象
1	全ての雪止めを緩みなく固定しましたか？	<input type="checkbox"/> ①止水性が保持できず屋根材内に浸水し、漏水するおそれがあります。 ②雪止めが脱落のおそれがあります。
2	柱移動の場合、雪止めと梁・雪止め同士の間隔を100mm以上確保していますか？	<input type="checkbox"/> 雪止めと梁の間にゴミが溜まり、後枠へ排水ができなくなるおそれがあります。

梱包明細表

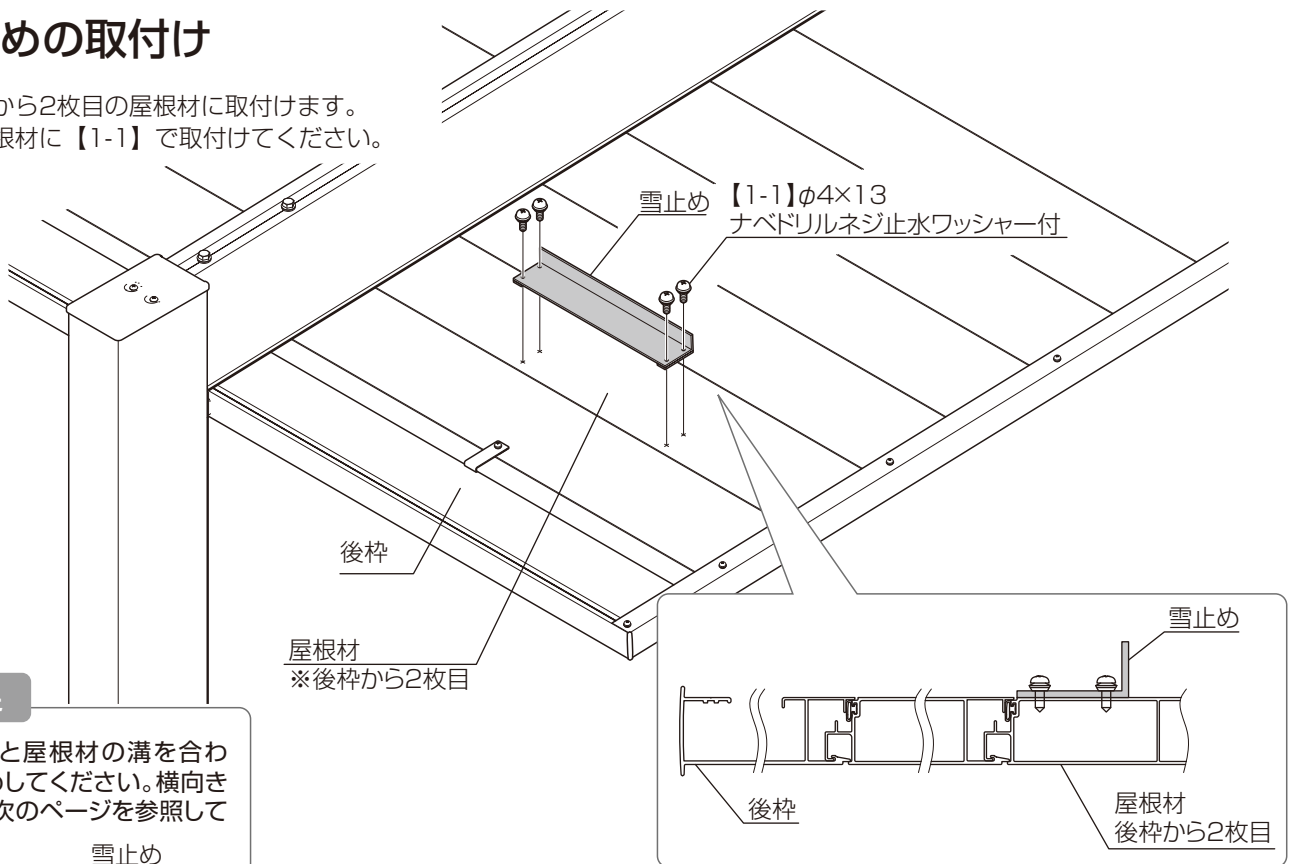
名称	略図	員数
雪止め		10
取付説明書		1

名称	略図	員数
【1-1】φ4×13 ナベドリルネジ 止水ワッシャー付		42

施工方法

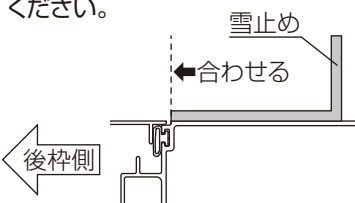
1 雪止めの取付け

雪止めは後枠から2枚目の屋根材に取付けます。
①雪止めを屋根材に【1-1】で取付けてください。



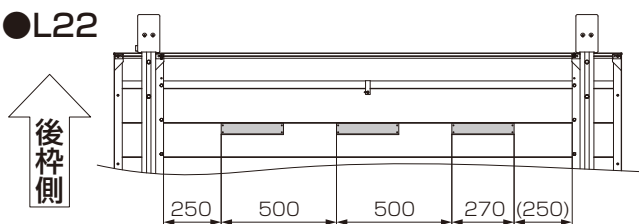
補足

雪止めの縁と屋根材の溝を合わせ、位置決めしてください。横向き取付位置は次のページを参照してください。

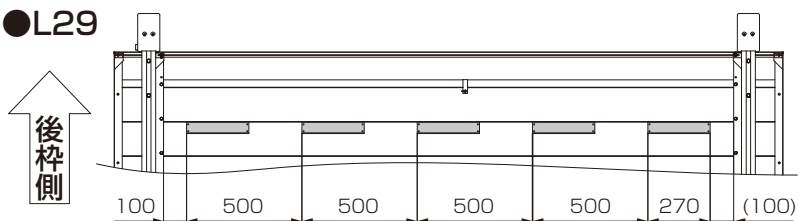


横向き of 取付け位置は下図を参照してください。

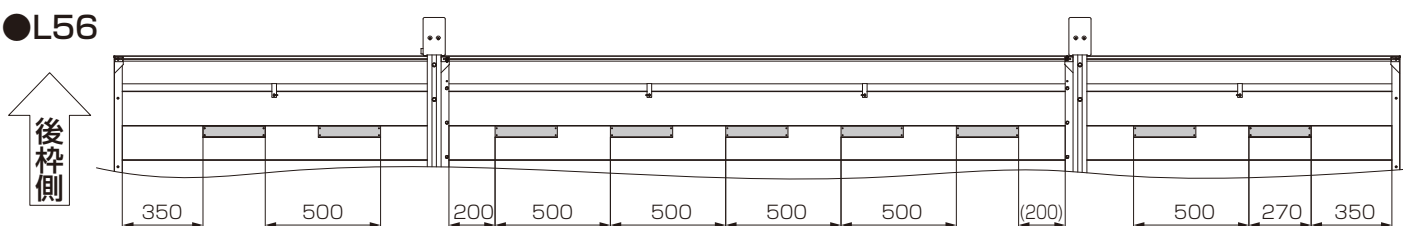
●L22



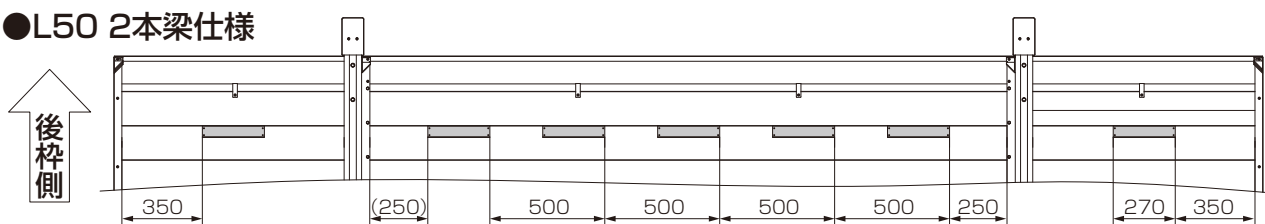
●L29



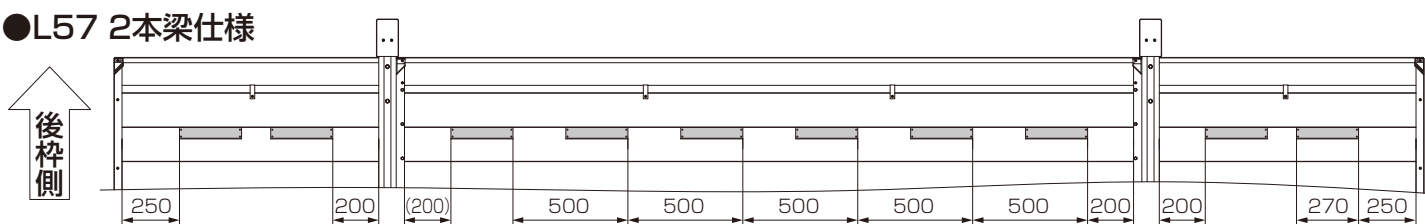
●L56



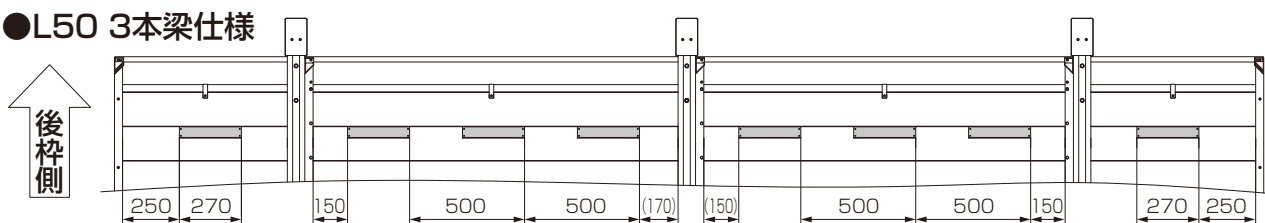
●L50 2本梁仕様



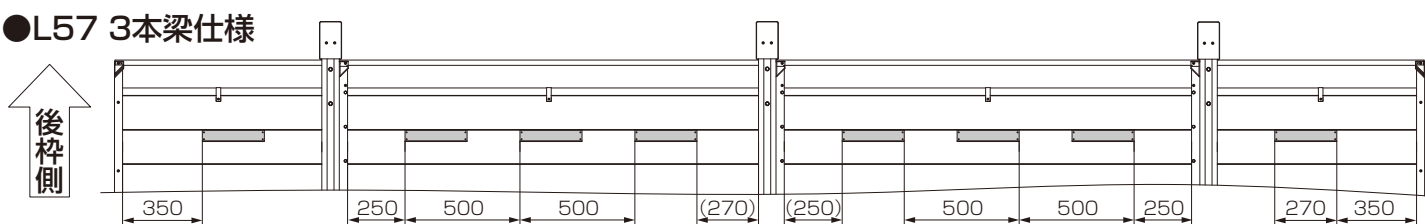
●L57 2本梁仕様



●L50 3本梁仕様



●L57 3本梁仕様



柱移動時の雪止め位置調整方法

①P.3の寸法図を参照して、移動後の雪止めと梁の間の寸法を確認してください。

$$\text{移動後の寸法} = \text{図面上の寸法(P.3参照)} - \text{柱移動の寸法}$$

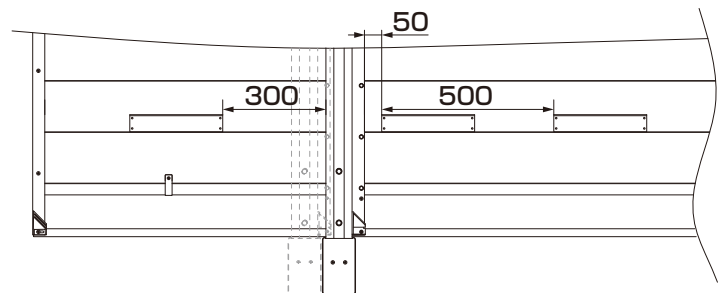
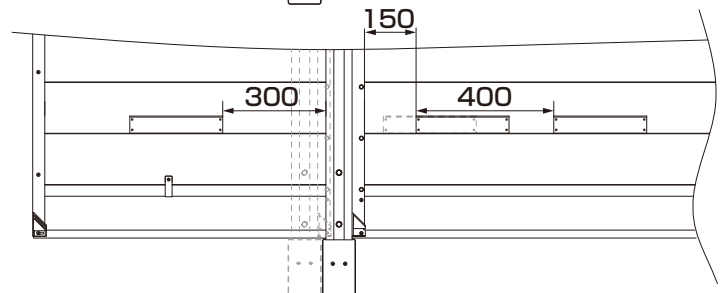
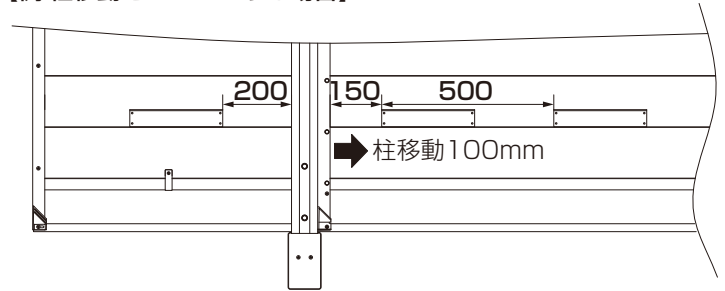
②〈移動後の寸法が100mm以上の場合〉計算後の寸法に従って設定してください。

〈移動後の寸法が100mm未満の場合〉雪止めと次の雪止めの間隔を調整し、設定してください。

お願い

雪止めと梁・雪止め同士の間隔は100mm以上確保してください。
ゴミが詰まり、水が流れづらくなることがあります。

【例:柱移動を100mmする場合】



雪止めと次の雪止めの間隔を調整し、雪止めと梁の間隔が100mm以上確保されている



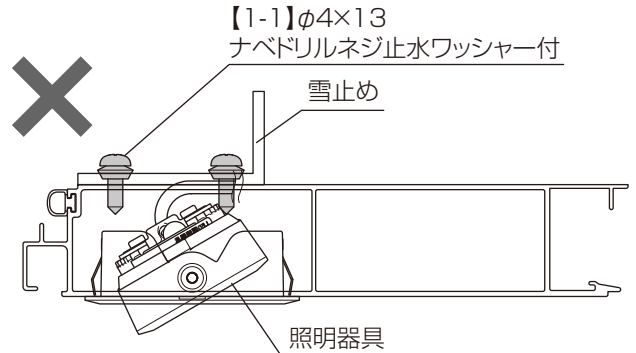
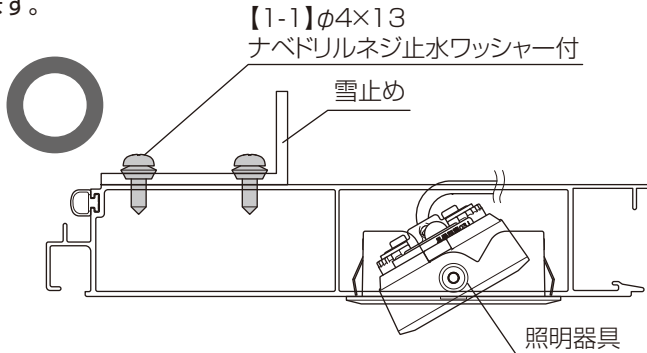
雪止めと次の雪止めの間隔を調整していないため、雪止めと梁の間隔が100mm以下になっている

雪止め取付け屋根材の照明器具取付け範囲

雪止めが設置されていない側のホロ一部に照明器具を取付けてください。

お願い

雪止めが設置されているホロ一部に照明器具を取付けしないでください。【1-1】を締め付ける際、電源ケーブルが破損することがあります。



取説コード

EXM-206

JZZ641605A
202506A_1048
202510B_1048